

科目	HPコンピューティング	担当	石田 隆城	履修学年	2年
時間数	90分×時限×32回(週2回)	履修区分	選択	単位数	4単位

**【授業目標・到達目標】**

25年ほど前に発生したwebの技術は日々発展を続け、当初、単なる個人の情報の発信と共有の手段であったwebページは、現在、従来の情報発信のみならず、人と人とのコミュニケーションや企業によるマーケティングなど、我々の生活や経済活動に非常に深く関わっている。本講義では、1995年以前のhtmlのみによる静的なwebページから、以降に発達したJavaScriptを用いた動的なwebページに関する知識と技術の基礎を学び、実習する。

**【履修注意】**

本講義ではHTMLやJAVASCRIPTを用いたWebページの制作実習を行うため、毎回の講義や実習での知識取得や技術の積み重ねが重要である。講義や実習課題の内容は難しいものではないが、前半で欠席を繰り返した場合、後半の講義理解や実習課題制作は難しくなると思われるので、毎講義への出席を推奨する。IT経営コースの必修科目である。

**【評価方法】**

実習課題60点満点・中間まとめ20点満点・期末試験20点満点・出席点15点満点の計115点満点で評価する。出席点は出席回数によって次のように点数を与える。15回で15点、14回で10点、13回で6点、12回で3点、11回～0回は0点。再試験受験者は、実習課題60点満点・再試験40点満点の計100点満点で評価する。

**【試験について】**

中間まとめを受験し、かつ、期末試験の日までに10回以上出席していることが期末試験受験の条件である。

再試験対象者の条件：2回の試験を受験していること、かつ、実習課題の得点が20点以上あること。

**【予習・復習】**

毎回実習課題を課す。講義や実習のより良い理解のために、講義前には前回の復習をしておくことを勧める。

**【教科書】**

購入教科書なし。

**【参考書】**

HTML、JavaScriptに関する市販本のうち自分で読みやすいと感じたもの。参考書は必須ではないが講義に携行すると効率良く知識が得られる。

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1・2	オリエンテーション	講義の概要と講義受講上の注意について/HTMLの基礎(1)
3・4	Webの発展	インターネットの発生からWebの発展まで/HTMLの基礎(2)
5・6	HTMLの発展	SGMLの発生からHTMLの発展、CSS/ CSSの基礎(1)
7・8	スタイルシート	CSSを始めとしたスタイルシートの発展について/CSSの基礎(2)
9・10	HTTPによる情報のやりとり	Webに関連した通信プロトコルについて/JavaScriptへの導入
11・12	処理の流れとフローチャート	プログラム処理の3原則について/流れ図
13・14	JavaScriptの発展	JavaScriptとWebに関する周辺技術/JavaScriptの基本
15・16	中間のまとめ	中間のまとめ、実習予備日
17・18	処理の流れとJavaScriptの構文	JavaScriptとWebに関する周辺技術/条件分岐と関数
19・20	処理の流れとJavaScriptの構文	JavaScriptの基本ステートメント/繰り返し
21・22	オブジェクト	オブジェクトのもつ属性や機能について/フォームの利用
23・24	イベントとイベントハンドラ	動的なWebサイトとプログラミング/イベントとフォームの利用
25・26	Document Object Model	DOMの概念について/Eventオブジェクトの利用とDOMの基礎
27・28	JavaScriptとスタイル	Styleオブジェクト/DOMとスタイルシート
29・30	スクリプトライブラリ	スクリプトライブラリの種類と利用/Yahoo!ライブラリの利用
31・32	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ